



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造性に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 諫早市小・中科学展が開催されます。

9月11日（木）から、17日（水）まで、諫早市美術・歴史館で、第70回諫早市小・中科学展が開催されます。本校からは、優秀賞の4名の作品が展示されます。また、校内で、16名の入選作品を選んでいます。また、選考委員会によって、各学校の優秀賞作品の中から、最優秀賞（中学校2名）が選出されます。諫早市内の小中学校から約100点、中学校からは約50点が出展されます。市内の子どもたちの素晴らしい研究を見学するとともに、来年の取組の参考にもなると思いますので、多くの生徒の皆さんに見学してほしいと思います。【休館日16日（火）】

☆ 諫早市小・中科学展 優秀賞・入選作品 ※敬称略

年	名前	研究テーマ
優 秀 賞（科学展へ出展）		
3	平野	細菌の発育を阻止しよう
3	堀口	地震に強い建物について
2	中里	野菜からプラスチックを作ろう
1	小寺	アリの益虫化実験 ～生ゴミを減らそう～
入 選（校内で表彰）		
3	山口	切り花を長持ちさせる方法
3	伊場	野菜の切り方で味や食感が変わる？！
3	酒井	この暑い夏を少しでも快適に過ごす方法
3	川崎	ウイルスとワクチン
3	松竹	野菜からDNAを抽出しよう
2	野中	イカの解体
2	久松	水温の変化
2	福田	水・気温・音楽の違いによる豆苗の成長比較
2	黒木	味覚は騙せる？ ～かき氷シロップ編～
2	島田	衣類のしみを1番落とす洗剤は何だろう
2	横瀬	効率的に水耕栽培を行うには？
1	杉本	調味料を入れた氷の溶け方
1	西川	カビが生えやすい食品・生えにくい食品
1	酒井	庭の雑草を調べてみた！
1	御厨	台風について
1	山崎	備長炭電池作成

日本は、多くの人々の勤労と、「科学技術」で発展してきました。現在でも多くの「特許」を持っており、半導体産業では、素材や製作機械の分野などで、世界的にも大きなシェアを持っています。ノーベル賞もたくさん受賞しており、多くの方が地道な研究をされています。

その基礎となるのが、多くの子どもたちが理科や科学に興味・関心を持つことです。今回、諫早市内では、小学生約3000点、中学生は約2000点の研究が行われています。その中から、入選、優秀賞が選ばれ、この科学展が開催されます。市内の小中学生が、夏休みの自由研究に一生懸命に取り組んでいることを聞き、たいへんうれしくなります。また、中には夏休みだけでなく、長期にわたって自由研究を行っている人もいます。

ノーベル賞化学賞を受賞された、下村脩博士は、幼少期に諫早市で学び、諫早の高校を卒業されています。下村博士に続く人が、この中から出ることを期待したいと思います。

○ 朝のあいさつ運動を行っています。

前回の学校だよりで、校門での風景をお伝えしました。今朝は、3年1組の生徒が校門付近に集合し、大きな声であいさつ運動を行っていました。3年生の元気な声に刺激され、校門を通過する生徒達も、しっかりとあいさつを返す姿が印象的でした。相手の心に届く「あいさつ」ができると、中学校だけでなく、高校に進学後や社会に出てから、自分の「強み」になります。

生徒会の目標も「スマイル・ワンストップあいさつ」です。毎朝の習慣の中で、「あいさつ」ができる人になってほしいと願っています。

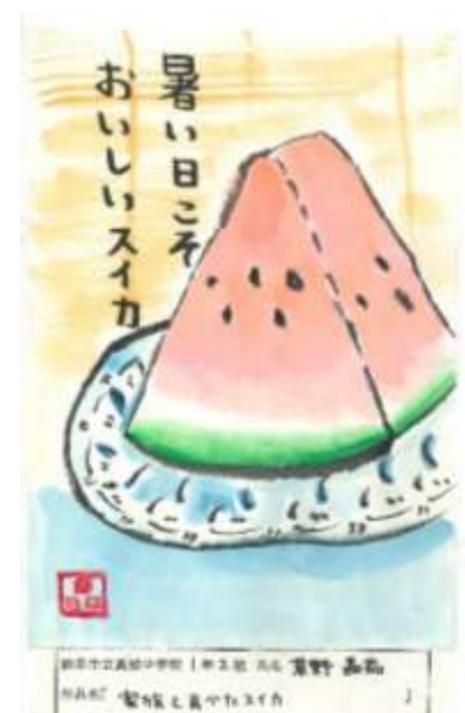


○ 「夏の思い出」の絵日記2

夏休みの美術科の課題の「夏休みの思い出を絵日記」の紹介です。今回は1年2組の生徒の作品を紹介します。

個人的には、最初に「自作電池成功」は目に入りました。上の、科学展の話にもつながります。今、電池は急激に進化しています。この研究を続ければ、世界的な大発見につながる可能性もあるのでは？

また、日常の何気ない風景や自然に目を向けることができる、子どもたちの「感性」にも感心しました。当たり前風景の中に「幸せ」がたくさんあるのだと、この絵日記から改めて感じることができました。



○ 今日の給食（8日・9日）

8日（月）の給食は、スパイシーチキン、春雨スープ、アーモンド和え、でした。先日の、鶏肉のマスタード焼きのときも驚かされたのですが、肉の味付けや柔らかさに感激しました。私も若い

ころ、お弁当屋（有名チェーン店）でアルバイトをしたことがあるのですが、数人分を調理するだけでも本当に大変でした。市内の小中学生の給食だと、とんでもない個数です。どれだけの手間がかかっているのか、しかも、この暑い中の調理場のことを想像すると、本当に頭が下がります。



9日（火）は、ペンネのミートソース、ゴマドレッシングサラダでした。パンについてきた、チョコ大豆クリームも優しい味でした。マカロニは家庭でもよく出ますが、ペンネは珍しいのではない

かと思います。調べてみると、ペンネは、斜めにカットされているので、味が中に入りやすいという特徴があるそうです。確かに、ミートソースが中までしっかり入って、美味しく食べることができました。ちょっとした工夫ですが、これも「先人の知恵」だと思います。また、イタリア語で「ペン先」や「羽根」を意味する「penna」に由来しているそうです。

生徒の皆さんにも、日常のちょっとしたことに関心を持ち、調べてみる習慣をつけてほしいと思います。